

【所属名：環境生活課】

【会議名：第1回糸魚川市環境審議会】

会 議 録

作成日 平成23年8月1日

日	平成23年8月1日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	本庁 201・202 会議室
件名	議題 環境基本計画 PDCA 進行管理について (公開)				
出席者	【出席者】 12人 佐藤(芳)委員 鷺澤委員 岩崎委員 小笠原委員 小野委員 小林委員 佐藤(晋)委員 杉野委員 田村委員 簗輪委員 山岸委員 山本委員 【欠席者】 3人 磯貝委員 恩田委員 吉田委員 【事務局】 本間副市長、吉岡部長、渡辺課長、木下参事、渡辺副参事、福光主査、井上主任主事 中田主事、総務課 佐々木課長補佐、都市整備課 見辺副参事、建設課 大沢課長補佐、 交流観光課 中村課長補佐、子ども課 吉田参事、生涯学習課 原課長補佐、 文化振興課 猪又課長補佐、博物館 竹之内副参事、ガス水道局 森田次長				
	傍聴者定員	人	傍聴者数	0人	

会議要旨

1	開会	進行 渡辺課長
2	副市長あいさつ	副市長
3	会長あいさつ	佐藤(芳)会長
4	議事	
《主な質疑・意見》		
・糸魚川市環境基本計画 PDCA 進行管理について		
【委員】	現在、生きものの生息・生育状況調査をジオサイト中心に実施されているが、市民に周知する際は、生息状況だけでなく、鳥類で言えば、渡り鳥の渡りが見られる場所があるなどの、糸魚川の特色みたいなものも周知いただきたい。	
【事務局】	市民に周知する際は、糸魚川独自の特色なども周知していきたい。	
【委員】	生きものの生息・生育状況調査について、計画では平成26年度に市民周知となっているが、その前に調査終了した部分について、広報などで段階的に市民公表する機会を設けるべきではないか。	

【事務局】 広報などで市民周知を図っていききたいが、絶滅危惧種などについては、環境破壊につながる恐れもあるため、公表出来ない部分もあるので、専門家と協議する中で市民周知について検討していきたい。

【委員】 調査について、どのような形態で調査されているか。

【事務局】 環境省の調査データを基に実施しているため、環境省調査の経験者である野紫木先生に委託し、数名の調査員に協力いただき季節ごとに実際に現地に入り調査している。

【委員】 全体を通じて、進行管理表の進捗状況が分かりづらい。また、事業について全部実施するようになっているが、目玉事業やメリハリをつける必要があるのではないか。

【事務局】 P D C A 進行管理表について、新規事業や継続拡充事業など分かりやすいように改善していきたい。

【委員】 市内でナラ枯れの被害が発生しているが、どういった対応をしているのか。

【委員】 県内では、約 10 数万本のナラ枯れ被害が発生しており、糸魚川市では、約 56 千本の被害が発生している。県農林振興部では、被害木をすべて処理することは不可能なので、公園や人家付近や道路近くなど、市民生活に支障をきたす危険木に対し除去事業を実施している。また、根知白池と大所で壊滅的な被害が発生しているため、フェロモン剤を使用し、ナラ枯れの原因となるカシナガキクイムシを集め、まとめて一括駆除する実証試験を実施している。

【委員】 水や大気など目に見えない部分で環境汚染されている恐れがあるが、糸魚川市ではそういうものを監視しているか。

【事務局】 市では、定期的に河川や大気測定を実施し、経年変化を確認している。異常があった場合は随時詳細の調査を実施する。

【委員】 森林管理について、国・県・市の管理区分について教えていただきたい。

【委員】 国有林については国、民有林については県、市有林については市が管理することになっている。

【委員】 姫川クリーン作戦の参加人数が年々減少しているが、何か対策を講じているか。

【事務局】 昨年は 106 名が参加し、今年は 114 名の参加予定であったが、雨天のため中止となった。広報等で呼びかけしている。

【委員】 昨年も広報周知ということで、同じ手法であれば変わらないのではないか。

【事務局】 国土交通省と連携を図り、参加人数が増えるよう周知の手法等検討していく。

【委員】 昔は、各地区で廃品回収が行われていたが、今はお金にならないことから実施されていない。年配の方などはそういった機会を利用し不要物を処分してきた。不法投棄などを減らすためにも、廃品回収に対し助成を行うなど検討いただきたい。

【委員】 公共下水道への接続促進について、周辺の悪臭問題にもつながるため、未接続世帯に対してもう少し強力で推進する必要があるのではないか。また、罰則規定などあるか。

【事務局】 下水道への接続は、下水道法により 3 年以内にしなければならず、罰則規定もあるが、国内において罰則規定を行使した自治体はない。水洗化促進委託として、供用開始から 3 年以上経過しても未接続の世帯へ理由を調査したところ、高齢によるもの 17.5%、資金不足 30.7%となっている。訪問した際、融資制度もあることなど周知し、接続についてお願いをしている。

【委員】 放射能汚染の測定について、市の対応状況などを教えていただきたい。

- 【事務局】 市では放射線測定器を購入し8月末に納入予定となっている。それまでの間は、県から測定器を借りて大気については独自に測定しており、その結果を、広報紙やホームページで公表している。農作物、水道水、下水道汚泥については、測定機器がないため、各専門機関に検体を持ち込み調査している。
- 【委員】 汚水処理普及率は、98.2%となっているが、市内の接続率はどのくらいか。また、計画目標を達成しているが今後も事業を行っていくのか。
- 【事務局】 下水道への接続率は90%位である。計画目標は達成したが、現在浦本地区の整備が完了するまでは事業を継続していく。
- 【委員】 糸魚川市の環境測定データについて、毎年発行しているか。
- 【事務局】 毎年作成し経年変化を確認している。
- 【委員】 地球温暖化対策地域推進計画の策定予定はどうなっているか。
- 【事務局】 平成24年度策定を目指し、当審議会では計画について年2～4回審議いただきたいと考えている。
- 【委員】 法的には努力義務となっているが、実際、策定するのか。
- 【事務局】 努力義務ではあるが、県内でも、8つの自治体が策定している。近隣の上越市・妙高市も策定済みであり、糸魚川市も策定したいと考えている。
- 【委員】 ジオパークの市民への周知など、これからどう活用されるか。
- 【事務局】 市民への周知として、総合ガイドブックや学校教育に活用できる副読本の作成を検討している。自然観察会などいろいろな分野で継続的に実施し、周知に努めていきたい。
- 【委員】 環境マネジメントシステム認証取得事業者数について、計画策定後増えていないようだが、対策は講じられているか。
- 【事務局】 上越・妙高と合同で普及セミナーを開催し、商工会議所を通じ参加を呼びかけている。入札制度において、ISO取得者には加点があるので、エコアクション21取得者も加点項目となるように検討していきたい。
- 【委員】 糸魚川市の環境マネジメントシステム導入について、予定などあるか。
- 【事務局】 導入に至っていない。他の模範となるべくシステム導入するように、担当課に働きかけていきたい。
- 【委員】 国道8号線浦本地区の渋滞長の根拠等について説明いただきたい。
- 【事務局】 本計画策定時に、国土交通省が計測した数値であり、その1割を目標値として設定した。東バイパス暫定供用後の計測では100mとなっているが、計画された事業を終了するわけではない。
- 【委員】 生涯学習の事業については、いろいろ実施されているが、子供や親が興味と関心を持てるよう、学校・地域などと連携をとりながら進めていただきたい。
- 【事務局】 参加者した親子から感想を聞いたり、公民館などから意見情報を収集して、次回の事業につなげていきたい。
- 【委員】 副読本の作成について、最近の子供は理解力が乏しいと言われているので賛成である。
- 【事務局】 理科学習において、一般的な自然は、教科書に載っている。副読本は、市内の身近な自然を学習するために利用するものである。
- 【委員】 最近、再生可能エネルギーの活用が注目されている。木材利用の観点から、化石燃料

から木質燃料へ切り替える良い機会と捉えている。市では、バイオマスの活用について、どう考えているか。

【事務局】 ペレットストーブの活用も含め、再生可能エネルギーの活用は今後重要になるので、情報収集に努め検討していきたい。

【委員】 糸魚川市は約 87%が山林であるため、森林木材の再生活用が効果的であるが、今の材価ではうまくいかないのが現状である。

【委員】 佐渡では、カーボンオフセット制度で成果を挙げている。森林保全で間伐することにより補助金を受ける。その間伐材でペレットを作り、燃料として販売するといった社会が成立する可能性があるので、関係機関でタイアップし地域全体で取り組めればよいと思う。

【委員】 計画策定時にアンケートを行っているが、中間くらいでアンケートを行う必要があるのではないか。

【事務局】 環境基本計画は 10 年の計画であり、中間の 26 年に数値目標を設定した。計画見直しの時点でアンケートの実施について検討する。

5 その他

【事務局】 次回日程について報告。
本日配布資料の説明。

6 閉会 鷺澤副会長